

SEQUIMINI ME

セ ク イ ミ ニ メ

No.43

WINTER 2012



桃山学院大学チャペル・ニュース

目 次

| | | |
|--|----------------------------------|-------|
| 巻頭言「クリスマスに示された神の愛」 | チャプレン 松平 功 | …… 1 |
| 先輩からの便り「人生の意味を知る」 | 第33期生 後登 雅博 (清和女子中高等学校・聖書科教諭) | …… 3 |
| ～ 桃学大 SCA (学生キリスト者会) へのお誘いとお願い ～ | | …… 5 |
| 聖書の花園 (26)「テレビンの木 — 神意伝達の場所」 | 金城 盛紀 (本学元文学部教授・神戸女学院大学名誉教授) | …… 6 |
| 「夏のバイブル・キャンプに参加して」 | SCA 部長 社会学部 社会福祉学科 2 回生 平井 光基 | …… 8 |
| ～ ACUCA Student Camp 参加報告 ～ | | |
| 「ACUCA STUDENT CAMP 2012：有意義で内容の濃い 5 日間」 | 国際教養学部 2 回生 中井 彩乃 | …… 8 |
| 「ACUCA Student Camp：本当に貴重な体験」 | 社会学部 社会福祉学科 2 回生 小杉磨未奈 | …… 9 |
| <キリスト教センター関連等諸行事> (2012 年 4 月～2012 年 12 月) | | …… 10 |

聖書の言葉

「わたしには金や銀はないが、持っているものをあげよう。
ナザレの人イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。」

(使徒言行録 3：6b)



「クリスマスに示された神の愛」

チャプレン（大学付牧師） 松平 功

天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」

（ルカ 2：10～11）

「愛の反対は憎しみではなく無関心」という名言はマザー・テレサの言葉です。「人様に迷惑さえかけなければよし」とする文化で育つ者にとって、テレサの言葉は衝撃的とさえ感じるかもしれません。「人様に迷惑をかけない」という教育は、共同体の中で他者を気遣いたわる、優しさを教える素晴らしい日本文化だったのですが、それは個人主義時代の到来と共にいつの間にか「自分さえ良ければ」という自己中心を助長する概念へと変化していききました。そして、この概念は現代の日本社会において人々の心に「無関心」を生み出す基もととなっているのです。

しかし、この日本社会の「無関心」という心の歪ひずみは、皮肉にもクリスマスという美しい物語を理解する上で大いに役立つのです。と言うのも、現代日本とクリスマスの舞台である当時のイスラエルに「無関心」という類似性を見出すことができるからです。イエス・キリストが誕生した2000年前のイスラエルは何百年もの間、他の国々から蹂躪され属国とされ続けて国家崩壊の直前でした。そして、人々の拠り所であるべきユダヤ教は形骸化し、宗教的おきてで縛りつけたりお布施を強要したりして人々を抑圧し、苦しめることばかりしていました。人々は精神的にも経済的にも窮

乏し生きていくことすらままならない状態で、他者を考える余裕など全くない社会だったのです。つまり、それがクリスマスの時代背景であり、現代の日本以上に「無関心」という病に毒された社会であったことがわかります。

そのような中、その国のベツレヘムという片田舎で極貧の夫婦が旅の途中に、宿に泊まることもできずに家畜小屋で産み落とした赤ん坊がイエス・キリストだったのです。臨月の妻を宿に泊まらせることすらできなかったイエスの父ヨセフの無力さは、「無関心」のはびこる社会の中で貧困に打ち勝つ術を何も持たなかった多くの男たちを代表しているかのように思えてなりません。また、伝承によればイエスの母マリアは当時16歳の少女であったといわれています。このいたいけな少女の出産を、夫以外の誰かが手助けしたという記録は聖書に記載されていません。誰も助けもしない、誰もあわれとも思わない、究極の「無関心」の中でひっそりと産まれた。これが「メシア」（ヘブル語で救い主の意味、ギリシャ語ではキリスト）と呼ばれるイエスの出生なのです。そして、このメシア降誕の出来事、つまりクリスマスは「無関心」という言葉に関連付けられながら進んでいくのです。

さて、イエスの降誕を最初に知らされたのは、「羊飼ひ」たちでした。2000年前のイスラエル社会では、羊飼ひは最も身分の低い貧しい人々であったようです。食べていけないほどの安い賃金で、野宿をしながらオーナーから託された羊の世話をし、いわばその日暮らし的な職業で、猛獣に襲われたり病にかかっ

たりすれば、誰かに看取られることもなく寂しく死んでいったのでしょう。誰も彼らの存在や、命でさえ気に掛けることはありませんでした。イエス降誕の出来事に登場する羊飼いは、人々の「無関心」の中で夢や希望を見いだせずに、孤独と闘いながら生きている人間を、象徴的に表しているのです。

次にイエスの降誕を祝ったのが、東方から訪れた占星術の学者たちでした。彼らのことを具体的に説明すると、イスラエル人が最も忌み嫌う他宗教の外国人たちということになります。つまり、この人たちもイスラエル社会から見れば「無関心」に包括される種類の、可哀そうな人々と言えるでしょう。誰にも相手にされない羊飼いや忌み嫌われる他宗教の外国人が、貧しい夫婦の間に産まれた何の力もないひとりの赤ん坊を拝みに来たということに、周りのイスラエル社会の人間たちは何の関心も持たなかったことなのでしょう。救い主のご降誕であるにも関わらず、人々が何の関心も示さなかったのは何故なのでしょう？ 実は、「無関心」の対象となることこそが「メシア」として、この世にイエスが生まれた目的であったのです。イエスは成長した後も、この世の富や権力を持つことはありませんでした。全くその逆で、貧しい大工の息子として育ち、周りの人々と同じように苦しみや痛みを受けながら精一杯努力して生活していきます。伝説によると、イエスがまだ幼い頃に父ヨセフが他界したため、母と兄弟姉妹をひとりで養ったといわれていますが、それが本当であればイエスの生活苦は大変なものであつ

たはずで、まさにそれは、当時の社会の多くの無力な男のひとりとして存在したわけで、聖書で天使が伝えたような「救い主」のイメージからは程遠く感じます。

イエスはその後、弟子たちと共に宣教活動を行い「隣人を自分自身のように愛する」必要性を説いて、実生活の中でその愛を実践していきますが、宗教家から排撃され最終的に十字架に掛けられ命を落とします。クリスマスの出来事から十字架の出来事までを追ってみると、イエスの人生の中に幸せであったと思われるところが一点も見つかりません。イエスの人生は、泣く人と共に泣き、友無き者の友となり、苦しむ人と共に苦しみ、悲しむ人と共に悲しむ生涯でした。そして、人々を愛し続けた最後には十字架にかかって人々の罪の身代わりとして命さえも捧げたのです。

このイエスの生き様にクリスマスの大きな意味を見出していきたいと思います。愛のない「無関心」という社会に、命さえも投げ出して人々を愛してくださる神の愛があるということを感じることができればと願います。また、クリスマスのこの時に、幼子イエスを拝みに来た羊飼いや東方の占星術の学者たちを考えたいと思います。誰からも相手にされず、「無関心」の対象となっていた彼らは、実は現在の人々を象徴的に現しているのではないのでしょうか？ 心に闇を抱え、弱さを抱える人々に神は関心を持たれ、一人ひとりを見もとに、今も呼んでおられるのです。メリークリスマス！

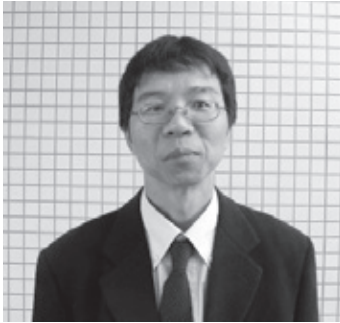


先輩からの
便り

「人生の意味を知る」

第 33 期生 ^{ごとう}後登 ^{まさひろ}雅博

(清和女子中高等学校・聖書科教諭)



初めに

私は、文学部国際文化学科 91L（現国際教養学部）の後登雅博と申します。大学進学時に、考えていたことがあります。それは、「人生の意味を見つける」ということでした。しかし、そういう目的を持つ反面「人生には意味などないのかもしれない」という思いもありました。つまり、私は人生の目的と意味について悩んでいたのです。そして、自分なりに出した答えは、「人生には意味なんてないのだけれども、意味があるかのように考えないとやってられない」というものでした。ある意味、人生に期待していなかったと言えるでしょう。

クリスチャンとの出会い

一浪していた私は、なるべく親に経済的な負担をかけたくないと思い、新聞奨学生をすることにしました。新聞配達をする関係で、午後 3 時の授業が終わったら、まっすぐに配達所に向かわなければなりません。そのため、放課後に活動する部活やサークルには入れませんでした。当時、一緒に新聞配達をしていた T 君といくつかのサークルを見学

しました。しかし、どのサークルも活動時間が合わず、どこにも入ることが出来ませんでした。サークルに入ることをあきらめかけていた時、T 君が一枚のチラシを持ってきました。それは、SCA（学生キリスト者会）というサークルの案内でした。「このサークルなら、昼休みに活動してるから入れるよ」と言うのです。私はそのチラシを見た瞬間「これは、宗教の勧誘だ。こんなところに行ったら、せつかくの大学生活がめっちゃくちゃになってしまう」と思いました。ですから、本当は SCA なんていうサークルの見学には行きたくなかったのです。でも、T 君は、大学に入って最初でできた友人で、一緒に新聞配達もしています。T 君の誘いを無下に断ることはできません。「見学に一回行くくらいなら、洗脳もされないだろう」と思い直し、恐る恐る T 君の後についていきました。

その頃、文化部の部室は大学の敷地の外れにありました。何となくうら寂しい場所です。しかも、SCA の部室はボックス棟の 2 階の一番奥で、何とも怪しげな感じでした。私は意を決して、T 君と薄暗い階段を上り、奥の部屋の前に着きました。部屋のノブに手をかけた時、「ああ、俺の大学生活は終わった」と思ったほどです。しかし、思い切って部屋の扉を開けた瞬間、事態は逆転したのです。何と、そこに座っていた人々の顔が光って見えたのです。「えっ？ 何？ 何でこの人たち、顔光ってんの？ もしかして宗教の人っていい人たち？」これが、クリスチャンと呼ばれる人たちとの最初の出会いでした。後から考えれば、薄暗いところを歩いてきた後で急に部屋の扉

を開けたので、部室後方の明かり窓から入る光に目がくらまされたように思います。その真相はともかく、衝撃的な出会いに、最初の警戒感はすっかり吹っ飛んでいました。そこに居たのは、先輩となるクリスチャン O 君と、S さんでした。こういう場合にありがちな話ですが、S さんは美人でした。S さんを見た瞬間、私と T 君は、ほとんど同時に SCA に入ることを決めていたと思います。その後、S さんと T 君と私が、次の時間に同じ講義を取っていることが分かりました。そこで、知り合ったばかりの 3 人がそろって講義に行くことになりました。3 人並んで授業を受けました。そこであろうことか、T 君はまだ出会って 30 分も経っていないのに、S さんの電話番号を聞くのです。しかも、S さんも快く電話番号を教えているではありませんか。単純な私は「普通、初対面のごっつい男 2 人と並んで授業受けるか？ しかも、いきなり電話番号聞かれて教えるなんて。クリスチャンの女の子って、めっちゃめっちゃいい人じゃなか」と思いました。書き忘れていましたが、当時 T 君の髪の色は、金髪崩れのまっ黄色でした。ちなみに、今でこそ珍しくありませんが、私も当時はまっ茶っ茶の髪の毛をしていました。その後、2 人して教会の門をくぐることになるのですが、初めて教会に行った時、教会学校の生徒が「暴走族が来た！」と牧師に言ったそうです。もっとも、その時乗っていたバイクは、新聞配達用のスーパーカブでしたが。

イエス・キリストとの出会い

SCA の活動は昼休みだけでしたが、本当に楽しかったです。聖書を読んで、色々思ったことを話したり、先輩クリスチャンに質問したり、いわゆる「聖書研究」をしていました。今から思えば、当時の私の発言は、かなりキリスト教的なものからは外れていたと思います。何を言ったか全く覚えていませんが、しばしば O 君が何とも言えない顔をするものが多くありました。しかし、どんなことを言っても、彼がそれを真っ向から否定することは一度もありませんでした。本当に、忍耐をもって付き合ってくれていたと思います。SCA に

入った私は、キリスト教のサークルに入ったのだから「聖書ぐらい読まなければ」と思い、かなりのスピードで聖書を読破しました。しかし、ほとんど理解できませんでした。また、SCA に入ったのだから「教会ぐらい行かなければ」と思い、教会にも通うようになりました。しかし、新聞配達で朝が早いので、礼拝の説教は寝てばかりで、ほとんど聴いていませんでした。礼拝中寝ていましたが教会に通い、分からないにもかかわらず聖書を読み、SCA に喜んで集っている内に「聖書の神様が本当の神様だ」と思うようになりました。

そんなある日、何を思ったか O 君が「後登君、そろそろ洗礼を受けてみいひんか」と言ったのです。私は「はい、受けません」と即答しました。当時のやり取りを思い出すたびに、O 君に悲しい思いをさせてしまい申し訳ない気がします。しかし、いつも通り好き勝手なことを言う私に対して、O 君は何ら非難がましいことを言わないのでした。今から思えば、私は自分勝手に神様を信じていただけだったので。しかし、結局この O 君を通して、イエス・キリストに出会うことになるのです。

ある日、O 君に誘われて、キリスト教の集會に参加することになりました。当日、あいにくの雨で、行くのを止めようかなと思いましたが、O 君に洗礼のことで少し引け目を感じていたので、思い直して雨の中を出掛けて行きました。集會自体はとても楽しいものでした。初めにバンドが登場して、キリスト教とは関係のない音楽を演奏したりして、ちょっとしたコンサートのノリでした。その内、ひとりの男性が登場して面白い話が始まりました。私はその男性の話を聞きながら「一体何時になったら牧師先生が出てくるんだろう？」と思っていました。しかし、いくら経ってもその男性が引込む気配はありません。そうしてようやく「どうやらこの人が牧師らしい」と思い至ったのでした。それ程その先生の話は面白く、また、キリスト教とは無関係の話だったので。そうして楽しく過ごしている内に、ひとりのクリスチャン女性の話になりました。ここでその女性の話を書くと長くなるので割愛しますが、そのクリスチャン女性の話を聞

いている内に分かったことがありました。それは、「この女性がこんなにも強いのは、神様の愛を知っているからだ」と言うことでした。そうすると、もう一つのこと分かりました。それは、「自分は神様を信じていると思っていたけど、それは、神が居るということを知っていただけだった。神様が自分のことも愛しているということが、全く分かっていなかった。神様は、自分のことも愛している！」このことが分かった時、私は初めて聖書の神を自分の救い主として信じることができたのでした。そして、「この神様の愛に応えるために何ができるだろうか？」と考えた末「洗礼を受けよう！」と思ったのでした。こうして私は、イエス・キリストと出会ったのです。その日はあいにくの雨でしたが、会場から帰る私の足取りは本当に軽かったのです。まさに天にも昇るような喜びで、どの道を通して配達所へ戻って行った、未だに思い出せない程です。

終わりに

人生において出会いとは、不思議なものです。人生の意味を探しつつも「そんなものは本当はないのだ」と冷めていた私。しかし、クリスチャンとの出会い、イエス・キリストとの出会いを通して、私の人生は大きく変わったのです。人生には、神を知るという秘められた意味があったのです。私は、桃山学院大学に入ることによって、人生における一番重要な、神を知る、と言う人生の目的・意味を知ったのです。イエス・キリストを自分の救

い主と信じることができた後、神様のために働きたいと思うようになり、牧師になるために神学校へ行きました。そして、その後も色々な人との出会いを通して、今は高知県にある清和女子中高等学校というミッションスクールで、聖書の先生をしています。実際には、ここに至るまでには、幾多の挫折がありました。たくさんの失敗を繰り返しながら、私は生きてきました。今でも失敗しますし「人生ってうまくいかないなあ」と思う時もあります。それでも、聖書の神様が私たちに願っていることは、私たちにとって良いことなのです。最後に聖書の御言葉を書いて終わりにします。

「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

(エレミヤ書 29 章 11 節)

「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。」(ローマの信徒への手紙 8 章 28 節)

神はあなたの人生を意味あるものになりたいと願っています。そして、人生においてどんなに失敗することがあったとしても、最後は神が責任を取って下さるのです。神を信じる時、人生は決して無意味ではないのです。これが私の得た、桃大での最大の恵みです。

～ 桃学大 SCA (学生キリスト者会) へのお誘いとお願い ～

本学 SCA では、バイブル・キャンプへの支援や ACUCA (アジアキリスト教大学連盟)、CUAC (聖公会大学連盟) の Student Camp への参加奨励に加え、様々な活動を予定しています。クリスチャンであってもなくても大丈夫ですので、大学時代の 4 年間に色々な活動を本学の建学の精神を基盤にしつつ、一緒にやってみましょう！ SCA 加入希望者は、チャプレンまでお申し出ください。チャプレン室はキリスト教センター内にあります。また、活動のための募金も受け付けていますので、下記の口座をご参照ください。

三菱東京 UFJ 銀行 (普通) 店番 458、口座番号 0099601

桃山学院大学 SCA サークル 代表 平井光基

テレビンの木 —— 神意伝達場所

きん じょう せい き
 金 城 盛 紀 (本学元文学部教授・神戸女学院大学名誉教授)



(大西洋テレビンの木)

聖書のテレビンの木はウルシ科カイノキ属の大西洋レレピン (Terebinth, *Pistacia Atlantica*) であるとする。地中海地域原産の落葉樹である。

聖書に出てくるテレビンの木とはいったい何か、実はたいへん分かりにくい。まず、樅 (オーク) との混同がある。テレビンの木は樅の木ほど巨大にはならなくても、両者は樹形も象徴的機能も似てはいるから大昔は区別しなかった可能性もあるが、植物分類学上は異なる樹木である。樅はブナ科コナラ属の常緑樹である。英語や日本語訳聖書、また、研究書などでも混乱している。『新共同訳聖書辞典』は新共同訳が「樅」と訳している語を「テレビンの木」と訳して説明している (552ページの項目など)。さらに、テレビンの木には2種類ある——大西洋テレビンの木 (別名ニシノウミノウコウ Atlantic terebinth, *Pistacia atlantica*) とパレスチナテレビンの木 (別名セイチノウコウ Palestine terebinth, *P. palaestina*) の2種だ。聖書では区別されないが、現在は前者が聖書のテレビンの木であろうとする説が有力のようだ。この木の根は深く広くはり、パレスチナテレビンの木よりもはるかに大きくなり、乾燥に強い。

旧約聖書の原書はヘブライ語だが、原書では樅とテレビンの木を意味する語もまた似ている。テレビンの木が「alaha, elah」で樅の木は「allon, elon」である (M. Zohary による)。

神意伝達の聖なる所の目印

75歳になったアブラムが妻をはじめ人々を率いて行った所がシケムの聖所、モレのテレビンの木の所である。

アブラムはその地 (カナン) を通り、シケムの聖所、モレの樅の木まで来た。当時、その地方にはカナン人が住んでいた。主はアブラムに現れて、言われた。「あなたの子孫にこの土地を与える。」アブラムは、彼に現れた主のために、そこに祭壇を築いた。(創世記 12:6-7; NEB ではテレビンの木、NRSV では樅だがテレビンの木でもよし、となっている)

重要な神意が伝えられたこの聖地には祭壇が築かれたが、これは最初の祭壇である。マレムに移動して住み、祭壇を築いたのもやはりテレビンの木の所である (同 13-18; 新共同訳では「樅の木」となっているから、私も以前は樅として扱った)。

主の仰せに従ってアブラムがアブラハム (諸国民の人の父) と名乗り割礼を受けてのち、主が現れるのもテレビンの木の所である。

主はマムレの樅の木の所でアブラハムに現れた。(創世記 18:1; NEB ではテレビンの木、NRSV は樅だが注でテレビンの木でもよしとなっている。)

このテレビンの木の下に天幕を張っていたアブラハムは、3人の旅人を丁重にもてなしたが、旅人は主とふたりの天使であった。アブラハム老夫婦に子イサクの誕生を主が予告されたのは、このテレビンの木の下である。主

の御使いもテレビンの木の下で予告をする。

さて、主の御使いが来て、オフラにあるテレビンの木の下に座った。これはアビエゼルの人ヨアシュのものであった。その子ギデオンは、ミディアン人に奪われるのを免れるため、酒ぶねの中で小麦を打っていた。(士師記 6 : 11)

主に見放されたと嘆くギデオンに、主は言われた——「あなたはイスラエルを、ミディアン人の手から救い出すことができる」(同 14 節)。酒ぶねの中に隠れて小麦を打っていたギデオンは、農産物を奪い取り土地を荒らす宿敵ミディアン人の大軍を奇襲攻撃して撃退し、イスラエルを解放して英雄となった。

再生の可能性

なお、そこに十分の一が残るがそれも焼き尽くされる。切り倒されたテレビンの木、樫の木のように。しかし、それでも切り株が残る。その切り株とは聖なる種子である。(イザヤ書 6 : 13)

イザヤが神に召命されて記した回顧録だが、その解釈はさまざまになされているようである。ユダ王国は相次ぐ災難によって住民の十分の一しか残らない。その上、生きのびる人々も切り倒されたテレビンの木や樫の木のように、焼き尽くされる。裁きは過酷で徹底的である。しかし、破滅の象徴である「切り株」が希望のしるしに変容する。裁きの神が愛とゆるし、希望の神であることを示唆する、と言えようか。

異教の神木でもあったか

山々の頂でいけにえをささげ
丘の上で香をたく。
樫、ポプラ、テレビンの木などの木陰が快
いからだ。
お前たちの娘は淫行にふけり
嫁も姦淫をおこなう。(ホセア書 4 : 13)

預言者ホセアは、社会的不安のため異教祭儀の迷信がはびこった民に対して神の裁きを説いた。豊穡神バルとその配偶神アシュタロ



(パレスチナテレビンの木)

トの性交渉が農作物の豊穡をもたらすと信じ、神殿売春から娘や嫁の淫行、姦淫がはびこり、社会は退廃を極めた。主がとがめなくても自滅する——「悟りのない民は滅びる。」(同 14 節)

樫やテレビンの木は神意を告げ礼拝の場となる神木であるとするならば、その木陰で異教の祭儀を模倣した性的放縦の冒険性は極まる。神の裁きが必然であるとするホセアの預言で 4 章は始まっている。しかし、テレビンの木も樫と同様に、太古の昔から樹木崇拜の対象であり、豊穡祈願の場となっていたかもしれない。

アブサロムが宙ずりになった木

アブサロムがダビデの家臣に出会ったとき、彼はらばに乗っていたが、らばが樫の大木のからまりあった枝の下を通ったので、頭がその木にひっかかり、彼は天と地の間に宙ずりになった。(サムエル下 18 : 9 ; NEB ではまたはテレビンと注)

イスラエル第 2 代の王ダビデの第 3 子アブサロムは国民を扇動して乱をおこすが、ダビデの親衛隊に敗れ、テレビンの木にひっかかったままになったところをヨアブによって殺される。父ダビデ王は自分に矢を引くわが子アブサロムを反逆者とみなすには親としての情がとがめた(「わたしの息子アブサロムよ、わたしがお前に代わって死ねばよかった」同 19 : 1)。頭が木の枝にひっかかり宙ずりになったのは、彼が生と死、王としての公的義務と父親としての思いとの間に宙ずりになった悲劇を物語る。骨肉争う内乱の背景には近親相姦と権力闘争がある。

「夏のバイブル・キャンプに参加して」

社会学部 社会福祉学科 2 回生 平井 光基

私は9月4日から9月7日まで、本学SCAから一部の援助をいただき、KGK（キリスト者学生会）が主催する夏のバイブル・キャンプに参加しました。キャンプのテーマは「弟子リンピック」ということで「キリストの弟子とは」、そして「その人生とは」ということを学びました。

今回は東住吉教会の小暮智久先生という方が講師として来てくださり、キリストの弟子についてや聖書の教えについて丁寧に教えてくださりました。お話の中で語られた、「キリストはいつでも私たちを呼んでおられる」という事が印象的でした。

また、私は今回のキャンプ中に証し（自身の体験の話をする事）をさせていただく機会も与えられ、自分の今まで歩んできた人生の体験の一部をお話しさせていただきました。とても緊張しましたが、たくさんの方から共感していただき良い経験になりました。そし



て、学び以外にもレクリエーションや運動会など、体を動かすプログラムもあり、思いっきり楽しむ時間もありました。

このキャンプには、他大学の方もたくさん参加しておられ、とても良い交流の時間となりました。大学は違っても4日間でもとても良い関係を築くことができました。このキャンプでとても成長できたと感じています。

「ACUCA STUDENT CAMP 2012：有意義で内容の濃い5日間」

国際教養学部 2 回生 中井 彩乃

今回、初めて ACUCA STUDENT CAMP（下記、注釈参照）に参加しました。ACUCAは、アジアのキリスト教主義高等教育機関の相互協力・質向上を目的として発足し、現在は、インドネシア、韓国、タイ、台湾、日本、フィリピン、香港の7つの国と地域から、54大学が加盟しており、日本からは桃山学院大学を含む10大学が参加しています。STUDENT CAMPは、2年に1度、加盟大学の学生が集まり開催されます。今回は国際基督教大学がホスト校でした。寮生活で全国・各国から集まった学生が、今回のテーマである「ともに歩む明日を目指して～私たちの夢、私たちの力～」

のもと、環境に優しい社会について、ディスカッションやプレゼンテーションを行い、自国の文化の紹介などを通して、それぞれの社会・文化を理解していきます。初日のオープニングセレモニーでは、緊張した面持ちで中々うまく海外の学生とコミュニケーションをとることができませんでした。しかし、文化交流体験、フィールドトリップ、ディスカッションを通じ、共に時間を過ごし、最終日は本当に皆と別れるのが悲しくなるほどでした。このプログラムで出会った友人とは、2か月たった今も、SNS上で連絡を取り合っています。ディスカッションやプレゼンテーションに関して

も、各国の学生のみならず日本の学生も意識が高く、環境問題について熱心に討論していました。そこで学んだものはとても多く、私も今回参加したことでモチベーションが高くなりました。とても有意義で内容の濃い5日間でした。機会を与えて下さった松平チャブレン、ありがとうございました。また、このキャンプで素晴らしい仲間に出会えたことに感謝

します。

注釈：ACUCA はアジアキリスト教大学連盟の略名で、本学が加盟する団体です。本年度、初めて本学 SCA サークルから大学の支援により ACUCA の主催する STUDENT CAMP に2名の学生を送り出すことができました。



「ACUCA Student Camp：本当に貴重な体験」

社会学部 社会福祉学科 2 回生 小杉磨未奈

はじめに、私は ACUCA Student Camp という貴重な体験をさせていただいたことに本当に感謝しています。このような機会を与えてくださった松平 功先生をはじめ、たくさんの方々にお礼申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

私が行っていいものなのか始めは戸惑うことがありました。まず英語が苦手ということもありものすごく不安な面がありましたが、苦手だったからこそ ACUCA Student Camp で自分から積極的にコミュニケーションを取

ろうと努力することができました。それによってより多くの世界中の人と言葉の壁があったとしても仲良くなることができました。また今までの人生の中で初めてたくさんの海外の人と話す機会をもてたので英語力も身につきました。この Student Camp を通して仲間ができただけでなく、何事も諦めず挑戦することで多くの物を得るということも学ぶことができましたと思います。

今回 ACUCA Student Camp は主に環境問題について各国ごとに話し合い発表すると

- 23日 第26回国際ワークキャンプ・インドネシア第一次選考（筆記試験）、
建学の精神講話
- 24～25日 第26回国際ワークキャンプ・インドネシア第二次選考（面接）
- 26日 建学の精神講話
- 27日 第26回国際ワークキャンプ・インドネシア参加者発表
- 5月 7日 国際ワークキャンプインドネシア語研修
- 8日 バイブルランチ、インド異文化ボランティア体験セミナー解団式・
感謝礼拝
- 9日 キリスト教センター運営委員会
建学の精神講話
- 10日 国際ワークキャンプ事前研修
国際ワークキャンプ懇親会
- 11日 建学の精神講話
- 14日 国際ワークキャンプインドネシア語研修
- 15日 バイブルランチ（ゲスト インドネシア児童養護施設 スイクラマ氏、
フォルマン氏）
- 17日 国際ワークキャンプ事前研修
- 21日 建学の精神講話
国際ワークキャンプインドネシア語研修
- 23日 建学の精神講話
- 24日 チャペル見学（大阪府立福泉高等学校）
国際ワークキャンプ事前研修
- 28日 建学の精神講話
国際ワークキャンプインドネシア語研修
- 30日 第107回チャペル・コンサート
- 31日 国際ワークキャンプ事前研修
建学の精神講話
- 6月 4日 春期日本語プログラム始業礼拝
国際ワークキャンプインドネシア語研修
- 5日 新理事長就任・祝福式
- 7日 国際ワークキャンプ事前研修
- 11日 チャペル附属聖歌隊新入聖歌隊員任命・祝福礼拝
ディアナ・ブラ大学学長来学
国際ワークキャンプインドネシア語研修、建学の精神講話
- 12日 バイブルランチ
- 13日 チャペル見学（りんくう湘南高校）
故岩津洋二教授逝去記念祈祷
- 14日 国際ワークキャンプ事前研修
- 15日 キリスト教講演会（日本聖公会中部教区アンブロジーア後藤香織司祭）
建学の精神講話
- 18日 建学の精神講話
国際ワークキャンプインドネシア語研修
- 20日 キリスト教センター運営委員会
- 21日 国際ワークキャンプ事前研修
- 22日 建学の精神講話
春期日本語プログラム修了礼拝
- 25日 建学の精神講話
国際ワークキャンプインドネシア語研修
- 26日 バイブルランチ
- 27日 建学の精神講話
- 28日 国際ワークキャンプ事前研修
- 30日 第108回チャペル・コンサート
- 7月 2日 国際ワークキャンプインドネシア語研修
- 3日 バイブルランチ（ゲスト竹内信義氏プール学院大学チャプレン）
建学の精神講話

| | |
|--------|--|
| 4日 | チャペル見学（大阪府立登美丘高等学校 PTA） |
| 5日 | 国際ワークキャンプ事前研修 |
| 9日 | 夏期日本語ビジネスプログラム始業礼拝 国際ワークキャンプインドネシア語研修 |
| 10日 | 建学の精神講話、バイブルランチ |
| 12日 | 国際ワークキャンプ事前研修、留学生壮行礼拝 |
| 13日 | チャペル見学 |
| 16日 | 第26回国際ワークキャンプ・インドネシア結団式・ユニフォーム祝福・授与式 |
| 17日 | インターシップ壮行礼拝、バイブルランチ |
| 18日 | 春学期終業礼拝、キリスト教センター運営委員会 |
| 21日 | 女子ラクロス部定期戦開会・閉会式（サブグラウンド） |
| 26日 | 夏期日本語プログラム修了礼拝 |
| 31日 | チャペル見学（貴志川高等学校） |
| 8月 1日 | 交換留学生修了礼拝 |
| 2日 | 2012年度ビジネス & ツーリズムプログラム修了礼拝 |
| 3日 | アメリカンフットボール部 Thundering Legion, Lions ユニフォーム祝福・戴冠式 |
| 4～5日 | 第26回国際ワークキャンプ研修合宿 |
| 7日 | 東日本大震災被災地の子供達の歓迎会 |
| 20日 | 第26回国際ワークキャンプ・インドネシア出発 |
| 9月 6日 | 第26回国際ワークキャンプ・インドネシア帰国 |
| 24日 | 秋学期始業礼拝、秋学期交換留学生始業礼拝 |
| 29日 | 2012年度卒業記念礼拝卒業証書・学位授与式 故岩津洋二教授名誉教授称号授与式逝去者記念式 |
| 7日 | オープンキャンパス（チャペルコンサート） |
| 10月 9日 | バイブルランチ |
| 10日 | チャペル見学（鶴山台小学校） |
| 13日 | 故林陸雄名誉教授逝去者記念式 |
| 16日 | バイブルランチ |
| 17日 | チャペル見学（芦部小学校）、キリスト教センター運営委員会 |
| 18日 | チャペル見学（拓植小学校） |
| 19日 | チャペル見学（国府小学校） |
| 20日 | チャペル見学（香川県高等学校 PTA 役員および教職員キャンパス見学） |
| 24日 | 学生表彰式 |
| 25日 | チャペル見学（南横山小学校） |
| 26～28日 | ACUCA 会議（国際基督教大学・明治学院大学） |
| 30日 | バイブルランチ |
| 31日 | 第109回チャペル・コンサート |
| 11月 2日 | キリスト教講演会（講師：立教大学副総長西原廉太氏） |
| 6日 | バイブルランチ |
| 7日 | チャペル見学（北池田小学校） |
| 11～13日 | CUAC 会議（於：聖公会大学 Sungkonghoe University 韓国） |
| 20日 | チャペル見学（池上小学校、バイブルランチ） |
| 26日 | チャペル見学（いぶき野小学校） |
| 27日 | バイブルランチ 桃山学院大学・啓明大学校 国際学術セミナー 30周年記念式典 |
| 30日 | 聖アンデレ日礼拝、クリスマス・イルミネーション点灯式 |
| 12月 3日 | 第26回国際ワークキャンプ報告会・解団式・懇親会 |
| 4日 | バイブルランチ |
| 8日 | クリスマス・コンサート（第110回チャペル・コンサート） |
| 11日 | バイブルランチ |
| 13日 | 桃山学院大学クリスマス礼拝 |
| 14日 | 第39回オルガン講習生発表会予定 |
| 18日 | バイブルランチ |

† 聖公会とは †

私たち桃山学院大学の建学の精神は、「キリスト教精神」（自由と愛の精神）です。教派としては日本聖公会に所属しています。聖公会は、英国宗教改革から始まり、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、太平洋など世界中の国々に広がり、信徒数7千万人を越えております。このような世界的な組織の中で、日本聖公会は重要な位置を占めています。日本においては約350の教会、約5万人の信徒を擁し、キリスト教の宣教活動に加え、さまざまな教育・医療・社会福祉などの事業を全国各地で行っております。

私たちの姉妹校としては、立教、立教女学院、聖路加看護、名古屋柳城、平安女学院、プール学院、松蔭女子学院、神戸国際などがあります。聖路加国際病院、聖バルナバ病院もよく知られています。私たちの大学は、世界に広がる国際的なネットワークの中で、その一員として、「キリスト教精神」（自由と愛の精神）に基づき、「世界市民の育成」をめざして努力しております。

～お知らせ～

BIBLE LUNCHのお誘い

学期間中の毎週火曜日、お昼休み（12:40～13:10）にバイブル・ランチを開いています。昼食を食べながら、聖書やキリスト教のお話をします。どうぞ、友人を誘ってご参加ください。場所は、キリスト教センター集会室です。お菓子や飲物もあります！

チャペル・ウェディング

本学チャペルでの結婚式は、随時受付中です。関心のある方は、キリスト教センター事務局までお問い合わせください。

◇ 編集後記 ◇

「SEQUIMINI ME」第43号ができあがり、ご寄稿いただいた方々に心から感謝いたします。また、このチャペル・ニュースを通して、チャペルへの興味を持っていただければと願っております。
(チャプレン 司祭 ヤコブ 松平 功)

「SEQUIMINI ME」桃山学院大学チャペル・ニュース第43号

2012年12月発行

発行所 桃山学院大学キリスト教センター

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1番1号

TEL 0725-54-3131



桃山学院の「キリスト教精神」

「自由と愛の精神」

桃山学院の学院章には、“SEQUIMINI ME”（我に従え）という言葉が刻まれています。それはイエスの弟子アンデレがイエスに従ったように、「自由と愛の精神」をもっていきることです。使徒パウロが書いています。「あなた方は、自由を得るために召しだされたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。」（ガラテヤの信徒の手紙5章13節）

自由には他者への愛と責任がともないます。「自由」とはひとりの人格と主体性を尊重すること、「愛」とは互いに仕えあいながら他者と共に生きることです。この「自由と愛の精神」は、単にキリスト教の立場だけでなく、すべての人間が一致しうる普遍的な理念であり、人類共通の目標です。

人間のそのような可能性を開花させながら、高い理想をめざしてチャレンジし続けていくこと、それこそが桃山学院の一世紀を超える伝統が目指そうとする「キリスト教精神」であり、「世界の市民」への道なのです。

桃山学院大学キリスト教センター

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1番1号

TEL 0725-54-3131

FAX 0725-54-3210